

の中にはただ一つの思いがあった。ノートは彼女にとって何よりも貴重な物で、ノート無しでは生きられないのだ。セレナは泳げないことさえ忘れていた。

エリカ達は、その行為に愕然とした。誰もが皆、ノートがそれほど重要であるとは思っていなかったのだ。そして、その場に立ち尽くし、セレナが波と格闘し、呻き声を上げているのをただ見ているだけだった。

「もうここから逃げないと、やばいことになるよ！」

と誰かが言うと、皆、一斉に逃げ出した。

海の中でセレナはノートをしっかりと胸に

